

市政を問う

一般質問

3月定例会における市政に関する一般質問は、3月4日、5日、8日に行われ、9人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。

また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

問 同じく、2006年から2017年までの人口の増減を比較します。東海市は7842人増、大府市は9377人増、刈谷市は8233人

答 他市の増加要因は把握していませんが、半田市の高齢化率は三市より高いため、公的年金等の社会給付の割合が高く、雇用の報酬割合が低くなっています。従って年金給付額よりも雇業者報酬の金額が多いため、ご指摘の結果となっていると推測しています。

問 2017年度あいちの市町村所得より、2006年から2017年までの一人あたり年間家計所得を比較します。東海市は9万円増で39万円、大府市は3万円増で39万円、刈谷市は10万円増で37万円でした。ところが半田市は6万円減少し、36万円でした。稼働力で三市に負け続けた原因をどう分析していますか。

答 東洋経済住み良さランキング2020では愛知県内での順位は刈谷市5位、東海市6位、大府市7位、わが半田市は8位とのことでした。週刊ダイヤモンド伸びる街&地域活力ランキング中京圏2018では大府市11位、東海市16位、刈谷市22位、半田市は50位より下でした。三市に後塵を拝した理由をどう分析していますか。



中川健一
半田市民会
副会長

問 他市の人口が増加している要因については把握していませんが、ある期間に地価が安く、大規模な民間宅地開発が行われた近隣市町へ子育て世代が流出した時期がありました。

答 他市の人口が増加している要因については把握していませんが、ある期間に地価が安く、大規模な民間宅地開発が行われた近隣市町へ子育て世代が流出した時期がありました。

問 住みよさランキングは財政力指数や人口一人あたりの法人市民税額など富裕度の指標が高いことです。伸びる街ランキングは人口増加率に重点があり、大規模な土地区画整理事業や民間による宅地開発を行った自治体の順位が上がる傾向にあることが原因と推測しています。

答 住みよさランキングは財政力指数や人口一人あたりの法人市民税額など富裕度の指標が高いことです。伸びる街ランキングは人口増加率に重点があり、大規模な土地区画整理事業や民間による宅地開発を行った自治体の順位が上がる傾向にあることが原因と推測しています。

増です。ところが半田市はわずか29人増です。足の投票で三市に負けた原因をどう考えますか。

問 現在の衣浦港には、企業誘致できる用地が残っていますか。

答 臨海部では、工場の建設規制があるわずかな未利用地のみです。近年、バイオマス発電所などの複数立地により、港の需要が高まり、工業用地や貨物の保管用地不足が課題です。

問 中央ふ頭南岸壁の埋立て計画は、いつ完成する予定ですか。

答 令和7年度末には完成する予定です。また碧南市沖にあるポートアイランドも、県の事業でほぼ埋立てが完了しております。併せて半田ゴルフリンクス東側も埋立て候補地となっており、貨物の荷役や保管場所について将来的には衣浦トンネル以南でほとんど収まるかと考えています。



鈴木幸彦
創造みらい半田

問 衣浦港奥の亀崎港は、住宅地域のすぐ近くに健康や環境に影響のあるウッドチップや鉄くずの保管場所になっています。このことについて市

答 健康被害の状況は把握していません。事業者も消毒、荷役作業中の散水、清掃など被害軽減の対策を講じています。今後は、荷役作業中に現地へ出向き、地域住民目線で被害状況を直接肌で感じ、事業者へ更なる対策を講じるよう対策強化に努めます。

問 市長が以前から言われているように、衣浦トンネル以南は工業ゾーンであるべきです。地域の方々も地元愛で毎日清掃され、美しさを保っている人工海浜をさむ亀崎港周辺は、それに相応しくない風景になっていませんか。

答 衣浦港を取り巻く市町の首長と一緒に、県や国に強く要望していきますので、ポートアイランド及び市内の9号地、11号地の埋立てが完了した時には、地域住民の長年の課題であったウッドチップや鉄くずが亀崎港からなくなり、美しい環境が戻ることで、市民にも海に對しさらに親しみを持っていただけたと思います。

としてどのような対策を考えていますか。

